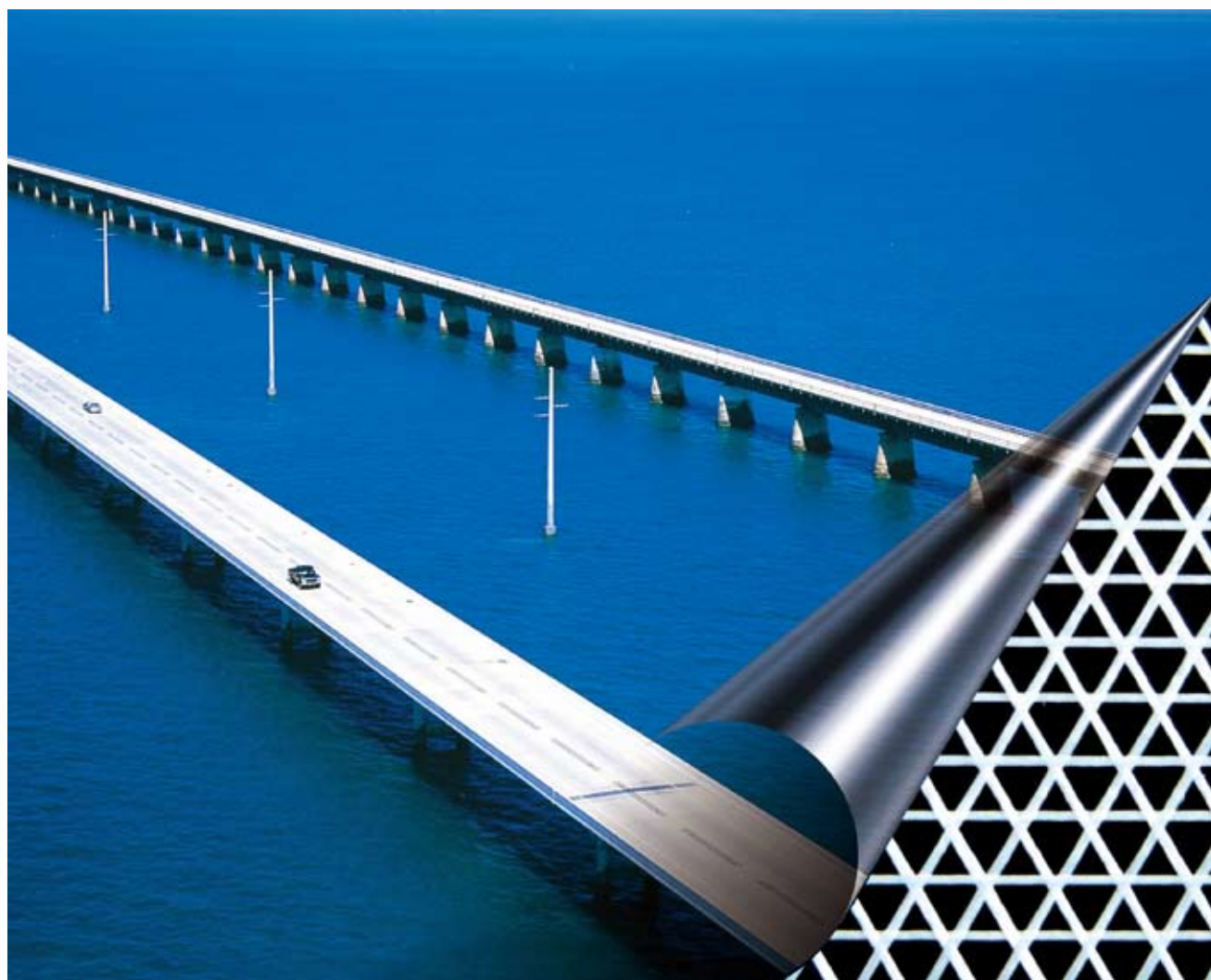


T/Mネット工法

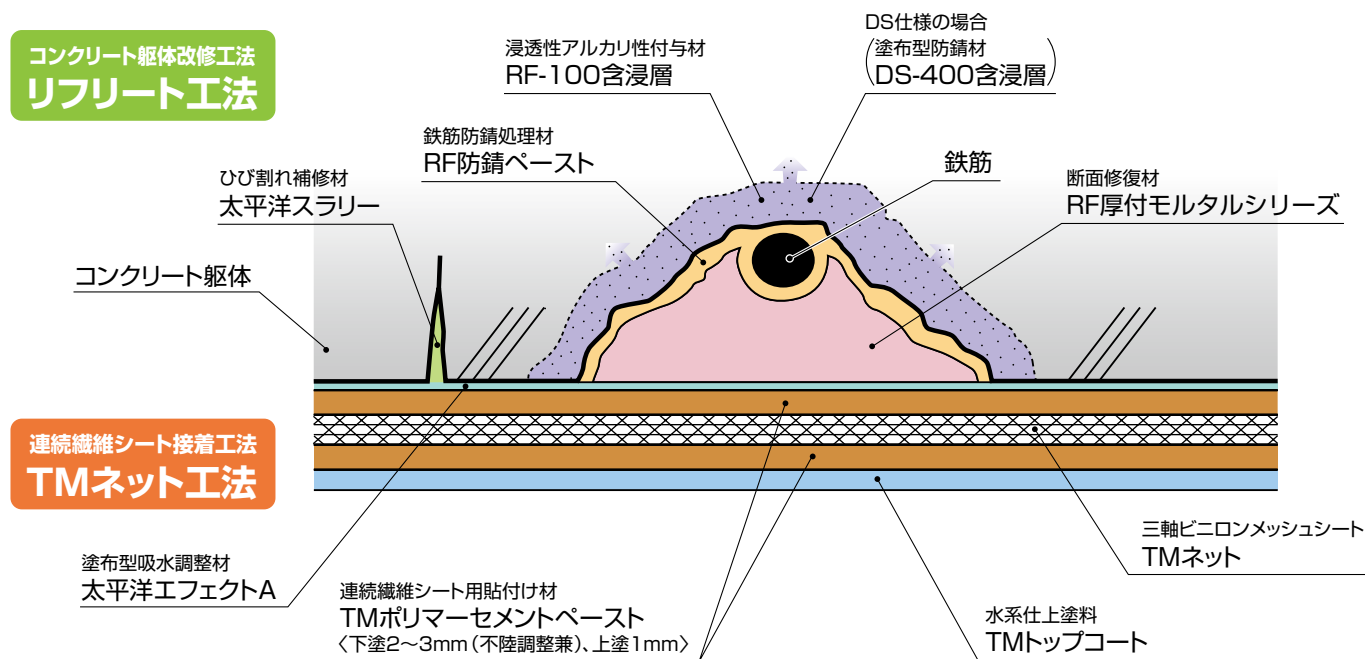
はく落防止対策用
連続繊維シート接着工法



TMネット工法 はく落防止対策用連続繊維シート接着工法

TMネット工法は、高強度なビニロン繊維糸を三方向に配列したTMネットと高性能な無機系貼付け材TMポリマーセメントペーストを主体としたコンクリート片はく落防止対策用連続繊維シート接着工法です。TMネット工法はコンクリート片のはく落を防止するとともに、コンクリート構造物の耐久性向上を図ります。

TMネット工法の概要図



TMネット工法の施工工程

仕様	工程	商品名	施工方法	標準使用量	標準膜厚	施工間隔 (20℃)
標準仕様	プライマー工	太平洋エフェクトA	ローラー ハケ	0.15kg/m ² (2倍液として)	—	プライマー 乾燥後
	不陸調整及び 接着材下塗工	TMポリマーセメントペースト	コテ	5.25kg/m ² (4.2~6.3kg/m ²)	2.5mm (2~3mm)	
	連続繊維シート 貼付工	TMネット	コテ	1.2m ² /m ² (ラップ部含む)	—	直ちに
	接着材上塗工	TMポリマーセメントペースト	コテ	2.1kg/m ²	1mm	
	仕上塗装工	TMトップコート (2回塗り)	ローラー ハケ	0.4kg/m ² (2回塗りとして)	—	

※下塗工のTMポリマーセメントペーストは、下地の不陸の状態や施工箇所により使用量が異なる場合があります。

※塩害地域等連続繊維シートの保護層を設ける場合には、塩害仕様としてRF弾性コートを塗布します。(接着材上塗工と仕上塗装工の間)

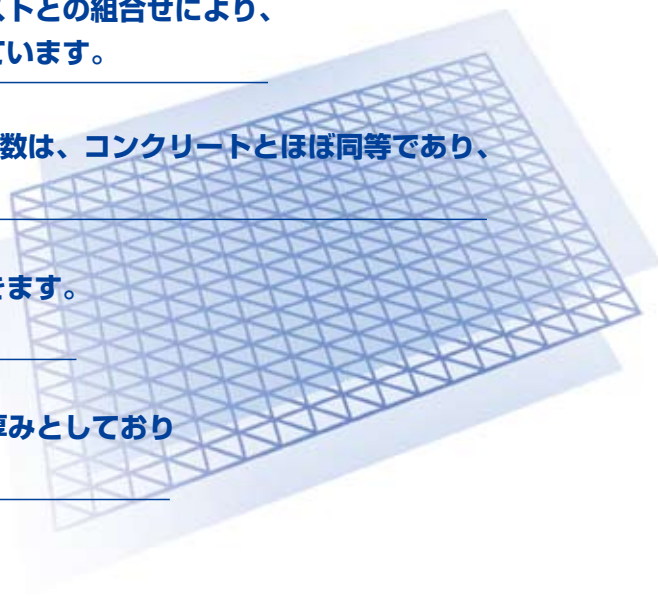
TMネット工法の特長

三軸ビニロンメッシュシートとポリマーセメントペーストとの組合せにより、押抜き耐力が高くコンクリート躯体との接着性に優れています。

TMポリマーセメントペーストの熱膨張係数及び弾性係数は、コンクリートとほぼ同等であり、長期接着性、耐候性、防水性等に優れています。

施工間隔、工程数が少なく工期の短縮を図ることができます。また出隅、入隅部の施工性にも優れています。

TMポリマーセメントペーストの下塗りは2~3mmの厚みとしており不陸調整材としても使用することができます。



施工フローチャート

1 下地処理工



①下地処理工

2 プライマー工



②プライマー工

3 不陸調整及び接着材下塗工



③不陸調整及び接着材下塗工

4 連続繊維シート貼付工



④連続繊維シート貼付工

5 接着材上塗工



⑤接着材上塗工

6 仕上塗装工



⑥仕上塗装工

性能試験結果

試験項目	試験結果	規格値
連続繊維シート接着の押抜き試験	2.6kN(変位22mm)	1.5kN以上(変位10mm以上)
連続繊維シート接着の付着強度	2.0N/mm ²	1.5N/mm ² 以上

*表中の各物性値は、20℃の室内試験結果の代表値を示すものです。

使用材料

商品名	荷姿	使用方法(配合)
太平洋エフェクトA	18kg/缶	エフェクトA:清水=1:1
TMポリマーセメントペースト	粉体 20kg/袋、混和材 18kg/缶	粉体:混和材=20:4.2
TMネット	1m幅×100m	
TMトップコート	16kg/缶	トップコート:清水=1:0~0.1

取扱い上の注意事項

- 施工に当たっては、下地面のレイタンス、油分、ゴミ等は取り除き十分に清掃して下さい。
- 各製品を取り扱う際は、保護メガネ(ゴーグル)、ゴム手袋、マスク等を着用し、目に入ったり、皮膚に付着させないように注意して下さい。
- 誤って目に入ったり、皮膚についた場合は直ちに水で洗浄し、速やかに医師の診察を受けて下さい。
- 太平洋エフェクトA、TMトップコートの希釈には水道水またはそれに準じる清水を用いて下さい。
- TMポリマーセメントペーストを練り混ぜる際は、泡を巻き込み過ぎないように注意して下さい。
- TMポリマーセメントペーストの練り混ぜにはアルミニウム製の羽根は絶対に使用しないで下さい。アルミニウム部材が磨耗し、施工後にペーストが異常膨脹をすることがあります。
- TMポリマーセメントの練り混ぜ量は、作業体制、環境、条件等によって調整して下さい。
- TMネット工法で使用する各製品は、雨露のかからない、湿気の少ない場所で保管して下さい。
- 施工時に外気温が5℃以下の場合は、作業を行わないで下さい。やむを得ず5℃以下の時に施工する場合は、板囲い、帆布シート、ビニールシート等のおおいの他、ヒーター等で保温して下さい。
- 降雨、強風あるいは周辺の他の作業により塗布作業に支障をおこす恐れのある場合は、作業を見合せて下さい。
- 施工中は、周辺の他の部材および仕上げ面等を汚損しないようシート類、ポリエチレンフィルム等で養生を行って下さい。
- 施工中及び施工後早期に、強風や日射等により急激に乾燥する恐れのある場合は、シート類、ポリエチレンフィルム等で養生を行って下さい。
- 直射日光、風当たりの激しい場所、夏期の施工では、急激な乾燥を防止するため、シート類、ポリエチレンフィルム等で保護して下さい。
- 内容物及び使用済容器等を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託して下さい。
- 海、河川、湖沼:池、下水道、公共用水路等への流入、及び投棄は絶対にしないで下さい。
- 洗浄水等の排水は、水質汚濁防止法等の関連諸法令に従って廃棄して下さい。
- 各材の取扱いについては、安全データシート(SDS)をご参照下さい。

注) 製品改良のため、予告なく記載事項を変更することがあります。

太平洋マテリアル株式会社

〒114-0014 東京都北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー15階
URL <http://www.taiheiyo-m.co.jp>
営業本部 機能性材料営業部 ☎03-5832-5217

北海道支店	〒060-0004 北海道札幌市中央区北4条西5-1-3 日本生命北門館ビル	☎011-221-5855
東北支店	〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町1-1-1 大同生命仙台青葉ビル	☎022-221-4511
東京支社	〒114-0014 東京都北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー16階	☎03-5832-5241
中部支店	〒453-0801 愛知県名古屋市中村区太閤3-1-18 名古屋KSビル	☎052-452-7141
関西支店	〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル	☎06-7668-6001
中国支店	〒732-0828 広島県広島市南区京橋町1-23 三井生命広島駅前ビル	☎082-261-7191
四国支店	〒760-0050 香川県高松市亀井町7-15 セントラルビル	☎087-833-5758
九州支店	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神4-2-31 第2サンビル	☎092-781-5331

● 商品についての問合せ、カタログ請求は最寄りの各支店まで。